

環境福祉部会より

視察報告 [視察期間]H26.8/19~21

1 富山県富山市「富山市医師急患センター」

視察概要

- ◆富山市(富山医療圏)における救急医療体制
- ◆富山市医師急患センターの特徴的な取組
- ◆一次救急に特化した効果
- ◆現在の課題と今後の展望

参考となった点

救急医療の初期、二次、三次という段階を明確にし、かつ、市民に周知することで、適切な医療体制を構築した。また、かかりつけ医の重要性を啓発している。



富山市医師急患センター



新潟市での説明

2 新潟県新潟市

「新潟市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例」

視察概要

- ◆事業概要
- ◆市民への周知方法
- ◆現在の課題と今後の展望
- ◆取組までの経緯
- ◆条例改正後の効果

参考となった点

ごみの持ち去りを抑制するための巡視活動は、持ち去り抑制効果があり、ごみ量の抑制の点でも効果が認められる。

3 千葉県千葉市「生活困窮者自立支援モデル事業」

視察概要

- ◆自立支援事業の実施体制(自立支援事業の実施内容、実施方法)
- ◆社会福祉協議会への業務委託(効果など)
- ◆関係機関(民生委員など)との連携方法
- ◆現在の課題と今後の展望

参考となった点

貧困の連鎖を抑制するため、生活困窮家庭の子どもたちに対する学習支援は意義がある。今後のニード、引きこもり対策も重要である。

部会要望

- ラムサール条約登録湿地の保全と市民意識の向上に向けた取組
- 認知症高齢者対策の充実
- 感染症から市民を守るための対策強化

産業建設部会より

視察報告 [視察期間]H26.8/19~21

1 富山県黒部市「観光資源の一体的活用」

視察概要

- ◆黒部深谷や宇奈月温泉など観光資源の一体的なPR
- ◆観光資源の一体的活用の現状、課題
- ◆現地視察

参考となった点

一般社団法人黒部・宇奈月温泉観光局が中心となり、「山」「川」「海」「名水」を「温泉」などの資源を用いた、黒部峡谷、トロッコ電車、黒部川、日本海、名水百選のまち、生地まち歩き、モノづくり企業、宇奈月温泉などたくさんの魅力を活かして、発地型観光から着地型観光を目指している。



珠州市ヘルスツーリズム コース予定地



山間に開通した舞鶴若狭自動車道

2 石川県珠洲市「ヘルスツーリズムのプログラム開発・活用」

視察概要

- ◆ヘルスツーリズムプログラム開発に至った経緯
- ◆ヘルスツーリズムプログラムによる成果、実績、課題
- ◆現場視察

参考となった点

出逢い、体験、感動をキーワードとした「楽しく遊び遊ぶ観光」「食を楽しむ観光」「伝統文化に感動する観光」「絶景海道を活かす観光」を具現化するため、地元ホテルと地域資源を活かしたヘルスツーリズムを展開している。また、産学官連携により、健康と観光を組み合わせたヘルスツーリズムを推進している。

3 福井県敦賀市

「高速道路開通に伴う地域活性化に向けての整備・取組」

視察概要

- ◆新たに開通した舞鶴若狭自動車道周辺整備状況
- ◆舞鶴若狭自動車道開通に伴う地域活性化の取組
- ◆現在の課題と今後の展望
- ◆現場視察

参考となった点

舞鶴若狭自動車道の全線開通に伴い地域の所要時間の短縮、緊急時の代替道路機能、既存並行道路の混雑緩和と一般道の交通事故防止、観光資源の有効利用が可能になる。地域の産業振興、文化交流の促進や周辺道路の整備など地域活性化を推進している。

部会要望

- ラグビーワールドカップ2019開催に向けた外国人観光客等へのおもてなし環境の整備
- 安全で快適な市民生活を営むための幹線道路ネットワークの構築
- 自然災害に強いまちづくり事業の推進
- ものづくり中小企業への支援強化
- 史跡を中心とした観光振興の推進
- 豊田市運動公園への交通の利便性の向上

住む人が主役の政治を目指して...

豊田市議会 自民クラブだより

発行：豊田市議会自民クラブ議員団 広報委員会 <http://www.toyota-jimin.jp/> 第6号
発行日：2015年1月1日



理念 私たち豊田市議会自民クラブ議員団は、住む人が主役の政治を推進する政策集団として、地域の歴史と伝統を大切にしながら、全ての社会行動の原点である家族が幸せに暮らしている潤いと安らぎのある豊かな豊田市を創ることに邁進する。

- ### 政策大綱
- 1 地域住民の目線に立ったまちづくり
 - 2 安全・安心のまちづくり
 - 3 次世代の確かな育成
 - 4 都市部と農山村地域の共生
 - 5 快適居住のまちづくり
 - 6 活力ある産業都市
 - 7 自立できる自治体の確立

豊田市議会自民クラブ議員紹介 総勢28名

①住所 ②所属委員会等

四役会 団長 **近藤 光良**(こんどう みつよし)【3期】
①西岡町②企画総務、予算決算、議会運営

幹事長 **三江 弘海**(みえ ひろみ)【3期】
①武節町②産業建設、予算決算、議会運営、議会だより編集、公選法運用(役員)

総務会長 **太田 博康**(おた ひろやす)【3期】
①若林西町②教育次世代、予算決算、合併10周年検証特別、議会運営、公選法運用(役員)

政務調査会長 **鈴木 章**(すずき あきら)【3期】
①定助町②生活社会、予算決算、議会活性化推進特別、議会運営、公選法運用(役員)

光岡 保之(みつおか やすゆき)【7期】 ①本新町②教育次世代、予算決算、公選法運用(役員)	岩月 幸雄(いわつき ゆきお)【5期】 ①宝町②環境福祉、予算決算、違憲衛生処理組合議員	加茂 みきお(かも みきお)【5期】 ①小坂本町②生活社会、予算決算、監査委員
河合 芳弘(かわい よしひろ)【4期】 ①御幸本町②産業建設、予算決算、議会活性化推進特別	松井 正衛(まつい せいえい)【4期】 ①保見ヶ丘②企画総務、予算決算、合併10周年検証特別	加藤 昭孝(かとう あきたか)【4期】 ①今町②副議長、企画総務、予算決算
梅村 憲夫(うめむら のりお)【3期】 ①吉原町②教育次世代、予算決算、監査委員	杉浦 弘高(すぎうら ひろたか)【3期】 ①四郷町②産業建設、予算決算、議会活性化推進特別	都築 繁雄(つづき しげお)【3期】 ①樹塚東町②議長
杉浦 昇(すぎうら のぼる)【3期】 ①梅津町②企画総務、予算決算、議会活性化推進特別、議会運営、議会だより編集	日恵野 雅俊(ひえの まさとし)【3期】 ①西町②環境福祉、予算決算	神谷 和利(かみや かずとし)【3期】 ①柿本町②産業建設、予算決算、議会運営
稲垣 幸保(いながき ゆきやす)【3期】 ①浅谷町②生活社会、予算決算、合併10周年検証特別	牛田 朝見(うした あさみ)【2期】 ①下仁木町②企画総務、予算決算、合併10周年検証特別、議会運営	加藤 和男(かとう かずお)【2期】 ①樹木町②環境福祉、予算決算
清水 郁夫(しみず いくお)【2期】 ①上郷町②生活社会、予算決算	山口 光岳(やまぐち こうかく)【1期】 ①羽布町②教育次世代、予算決算、合併10周年検証特別	深津 眞一(ふかつ しんいち)【1期】 ①渡刈町②企画総務、予算決算、農業
伊井 房夫(い い ふさお)【1期】 ①藤岡飯野町②産業建設、予算決算、合併10周年検証特別、農業	山田 主成(やまだ しゅせい)【1期】 ①西中山町②環境福祉、予算決算、議会活性化推進特別、違憲衛生処理組合議員	板垣 清志(いたがき きよし)【1期】 ①松平志賀町②産業建設、予算決算、合併10周年検証特別
木本文也(きもと ふみや)【1期】 ①青木町②環境福祉、予算決算、議会活性化推進特別	原田 勇司(はらだ ゆうじ)【1期】 ①坂上町②教育次世代、予算決算	羽根田 利明(はねだ としあき)【1期】 ①加納町②生活社会、予算決算

生活社会部会より

視察報告 [視察期間]H26.8/19~21

1 福島県矢吹町「東日本大震災からの復興と防災の取組」

視察概要

- ◆被害と復興状況
- ◆復興と防災の取組の概要と特徴
- ◆復興と防災の取組の経緯と背景

参考となった点

矢吹町では、地盤の液状化による道路・上下水道施設の破損など甚大な被害を受けたが、地元建設業者の協力により早期に応急復旧ができた。日頃からの連携・協力体制の構築が重要である。



2 宮城県仙台市「下水熱利用事業」

視察概要

- ◆下水熱利用事業の概要と特徴
- ◆下水熱利用事業の経緯と背景
- ◆成果と今後の課題

参考となった点

下水道熱利用システムは、ドイツやスイスでの事例はあるが日本では事例がない。今後、普及拡大には、初期投資にかかる費用を利用者が負担できるシステムづくりが重要である。



矢吹町の復旧作業

3 静岡県静岡市「下水道施設のアセットマネジメント」

視察概要

- ◆アセットマネジメント導入の経緯と背景
- ◆アセットマネジメント概要と特徴
- ◆成果と今後の課題

参考となった点

アセットマネジメントによる維持管理は、定期的なアセット点検により健全度を把握するものである。アセットによる長寿命化対策の実施により、ライフサイクルコストの削減となる。



仙台市下水熱利用システム

部会要望

- 安全・安心なまちづくりの推進
- 地域の活性化を図る過疎・定住対策の促進
- 市民生活を支える上下水道施設の整備促進
- 市民の生命・財産を守る消防・救急体制の強化・充実

企画総務部会より

視察報告 [視察期間]H26.10/29~30

1 新潟県新潟市「政令指定都市への移行」

視察概要

- ◆合併及び政令指定都市への移行の経緯
- ◆合併後の新市の特徴と課題
- ◆政令指定都市への移行によるメリット・デメリット

参考となった点

他地域と違い「政令指定都市誕生をめざす」という目標で近隣13市町村と大同団結し合併したことが特徴。日本海側初の政令指定都市で東アジアとの関係や農業基盤強化等の使命を担う。財政負担の大きい河川整備等に関する権限を国・県に残しつつ、教育・道路・子どもに関する業務の一元管理の実現などで大きな成果を上げる。



新潟市の多段階合併の経過資料



三郷市での説明

2 埼玉県三郷市「広報戦略会議の取組」

視察概要

- ◆取組の経緯及び概要
- ◆取組の効果・成果
- ◆現在の課題と今後の展望

参考となった点

総合計画に広報・広聴活動の推進を掲げ、「広報戦略会議」を設置。H26年に「みさとシティプロモーション会議」に名称変更し市の魅力発信を全庁的に推進。広報誌の改善、広報紙・ホームページにおける広告収入など大きな成果を上げる。今後は、東京近郊という立地を生かし、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした地域活性化やドラマ・CMの撮影誘致に向けた支援等に全庁一丸で取り組み、市の魅力のさらなる発掘をめざす。

部会要望

- 健全で効率的・効果的な行政運営と市民満足度の高い豊かな地域社会の形成に向けた取組の戦略的な推進
- 活力ある都市として発展していくための都市基盤整備の推進
- 迅速かつ効果的な情報発信の推進
- 再生可能エネルギーの活用推進
- 今後の自治体経営を担う人材の確保に向けた戦略的な取組の推進
- 外国人来訪者の受け入れ環境の整備
- マイナンバー制度の導入による市民サービスの向上

教育次世代部会より

視察報告 [視察期間]H26.8/19~21

1 新潟県 新潟大学教育学部附属新潟小学校「授業におけるタブレット端末の活用」

視察概要

- ◆タブレット端末の活用の取組経緯・状況
- ◆主に活用する教科、端末活用の具体例
- ◆タブレット端末の導入のメリット
- ◆タブレット端末導入に対する生徒の反応
- ◆今後の課題

参考となった点

タブレット端末での授業展開を図り、情報モラルを習得させることにより、子どもたちが適切で正しい活用をするようになるなどプラス面もある。



2 東京都杉並区「学校支援本部の取組」

視察概要

- ◆学校支援本部事業の概要
- ◆学校支援本部のメンバーの構成
- ◆学校運営への関わりの範囲
- ◆セキュリティ面での対応
- ◆今後の課題

参考となった点

「子どもたちは地域で育てる。」という基本を学校支援本部の意義の一つとして活動することにより、学校と地域の連携が一層深まることが期待できる。



タブレット端末活用の取組説明

3 千葉県市原市「放課後児童の居場所づくり整備」

視察概要

- ◆放課後児童の居場所づくり整備事業の概要
- ◆放課後児童の居場所づくり整備の取組の経緯・状況
- ◆児童保育を実施していない学校の理由
- ◆事業のアウトソーシングの状況、また考え方
- ◆教室や備品などの整備方法
- ◆今後の課題

参考となった点

事業はアウトソーシングで行なっているものの、児童の学校生活と放課後の様子を、学校側と事業者が相互に情報交換することにより、子どもの成長に資する指導の参考としている。



市原市での説明

部会要望

- 青少年の二つ引きこもり対策の強化
- ICT機器を活用した授業の展開
- スポーツ推進体制の環境整備